

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和元年6月号 No.145

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

平成31年度木材関連団体総会開催

名古屋木材組合の通常総会は令和元年5月22日(水)午後1時30分から名古屋木材会館に来賓、組合員約50名の出席を得て開催された。西垣組合長は「鈴木惣兵衛初代組合長以来、135年の歴史を持つ。その歴史の中で木材という循環資材を扱う者として、変えるべきものを変え、変えてはいけないものを守っていききたい。今後モノづくり発祥の地である名古屋から非住宅や都市の木造化、木質化など、木材の新たな需要創造を図るべき。木材の都市での需要拡大のため、先人が残してくれた素晴らしい遺産を大切に、新たな時代の幕開けを迎えたい。そして、ウッドファースト社会の実現とウッドチェーンへの運動を、名古屋から始めていくことが私の使命」と述べた。

議事に移り、29年度末時点の組合員数は192社だが、新組合員、賛助会員が拡大し、30年度末時点210社となった。今後も増加する見込みで、引き続き組合員の協力を求めた。31年度事業計画では、木材産業の振興、労働環境の改善と労働安全対策、JAS制度への対応、木造住宅の普及・啓発、公共建築物木造化推進への取り組み、民間非住宅施設の木造化推進の取り組み、組合事業の拡充などに取り組んでいくと説明した。



西垣洋一 組合長

- 第1号議案 平成30年度事業報告について
- 第2号議案 平成30年度収支決算について
- 第3号議案 平成31年度事業計画について
- 第4号議案 平成31年度収支予算について
- 第5号議案 平成31年度組合費の賦課及び徴収方法について
- 第6号議案 記念部分林特別会計
 - ①平成30年度事業報告および収支決算の承認について
 - ②平成31年度事業計画及び収支予算の決定について

以上各議案については事務局の説明の通り承認された。その後来賓を代表して名古屋市長（代理 名古屋市市民経済局 古田産業労働課産業企画係長）から祝辞が述べられ総会が終了した。

また、午後2時20分から同所にて（一社）愛知県木材組合連合会の総会において、組合功労者、永年勤続従業員表彰式が行われ、当組合から下記の方々が表彰されました。

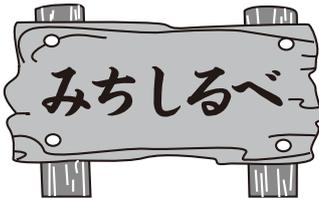
◎組合功労者知事表彰

川村寿男（川村特殊合板株）、児玉 豊（楸山二製材所）

◎永年勤続優良従業員知事賞

式守正光（名古屋木材株）、伊藤雄一郎（楸山西）、長瀬康信（楸山西）、渡邊紀和（楸山西）（敬称略）

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



都市の木造化・木質化への新たな幕明け!! 中大規模木造建築物推進の取り組みと今後の展開

名古屋木材組合

組合長 西 垣 洋 一

◆ 都市の木造化の復権と木造建築の新たな時代の幕明け

右の都市の木造化対策に関する経過の通り、戦後、戦禍により焦土と化した街と、戦中・戦後の乱伐等により荒廃した森林の復興が命題となっていた日本では、木材利用の抑制と都市の不燃化を目指して、都市建築物の非木造化に向けた施策が国を挙げて進められてきました。以来60年余り、日本の緑は回復し、戦後造成された森林資源は、今まさに利用期を迎えており、木材の計画的な活用が求められる状況の中、2010年に「公共建築物等における木材利用の促進に関する法律」が成立、以来国策として木材利用促進に向け、法制度の整備が進められています。

他方、地球温暖化などの環境問題の高まり、国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成、循環型・低炭素社会の実現の面からも、再生が可能であり、金属材料と比して資材生産に要するエネルギーが極めて低い省エネルギー資材である木材の有効活用が求められています。

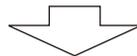
又、都市の木造化・木質化を進めることは、生物多様性の保全などの環境面の効果のみならず、地産地消、地域創生などの経済効果や、伝統・文化の伝承、居住・執務空間の快適性の向上、知的生産性・創造性を高め、環境ストレスの軽減等にも効果があります。

今こそ、業界は都市の木造化・木質化に向けた新たな時代の幕明けとしなければなりません。組合としては、建築士協会等との連携を強化、地場工務店・建設会社と共有し、産官学の協力体制の下、中大規模木造建築物の新たな市場の創造・普及活動に取り組み、木材利用を広げるための環境やプラットフォームづくりに寄与して参りたいと思います。具体的には「非住宅の低層大規模建築物を一般流通材を利用した木造で!」の旗の下、木材利用のメリットを最大限に発揮しつつ、低コスト化を実現した木造建築を地域のネットワーク・地域力で造り上げ、PRにも努めることです。そして業界の悲願であるウッドファースト社会の実現・ウッドチェンジの推進に向け業界が総力を結集、「愛知中大規模木造建築推進プロジェクト」を始動、展開を図るべく邁進していきましょう。

◆ 中大規模木造建築物推進の取り組みと今後の展開

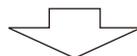
[中大規模木造の普及を阻むハードル]

- ① コスト（大断面集成材工法はRC造・S造に比べて割高）
- ② 防耐火の法規制（耐火は被覆、準耐火は燃え代規程）
- ③ 木造の構造設計ができる構造技術者がいない
- ④ 品質管理された構造製材（地域材）の調達が難しい
- ⑤ 非住宅用の標準設計ツール（構造標準図、積算テーブル、工程管理・施工マニュアル等）がない



[想定される木造建築の今後のテーマ]

- ① 木造建築実践に係る全ての関係者の情報共有・共通認識
- ② 地域のできる事、周辺と協働する事の共通化・見極め
- ③ 地域で実践可能な品質と確保法の見極め・実践
- ④ 地域の品質に配慮した設計と説明責任
- ⑤ 地域の生産体制の整備とネットワーク・プラットフォームづくり



[地域力の結集]

（地域創生、地産地消、地域ネットワーク力・産官学）



< 都市の木造化の復権と木造建築の新たな時代の幕開け >

都市の不燃化・非木造化への経緯

戦中・戦後の乱伐等による森林の荒廃、災害の発生
⇒森林の回復と都市の不燃化が国家的な命題

- 1950 衆議院「都市建築物の不燃化の促進に関する決議」
⇒官公庁建築物の不燃化（同国会で建築物基準法制定）
- 1951 閣議決定「木材需給対策」
⇒都市建築物等の耐火構造化、木材消費の抑制、未開発林の開発
（同時期に森林法制定）
- 1955 閣議決定「木材資源利用合理化方策」
⇒国・地方公共団体が率先垂範して建築物の不燃化を促進、木材消費の抑制、
森林資源開発の推進
- 1959 日本建築学会「建築防災に関する決議」
⇒防火、耐風水害のための木造禁止

実務上の大きな方針・方向転換



非木造化から60年余りを経過して木造化・木質化の動き

森林資源充実、地方創生、地球温暖化防止、世界的な木材利用の動きと国土強靱化への
森林の役割⇒森林資源の活用と都市の木造化・木質化が国家的課題

- 2010 公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律
⇒低層の公共建築物は原則として木造。国が率先垂範して公共建築物における
木材利用を推進
- 2014 建築基準法の改正（木造関係基準の見直し）
⇒3階建ての学校等に係る防耐火規制の緩和
- 2018 建築基準法の改正（木造建築物等に係る制限の合理化）
⇒中層建築物を「現し」で建設、木造建築物の範囲拡大（耐火構造等）
 - ・経済財政運営等改革の基本方針2018
「木材の中高層建築物等への利用拡大」
 - ・全国知事会 国産木材活用PT
「国産木材活用の更なる拡大に向けた緊急提言」
 - ・政令指定都市「政令指定都市木材利用促進議員連盟」
 - ・経団連、経済同友会による需要サイドからの提言
- 2019 「森林を活かす都市の木造化推進協議会」設立

新たなる木造建築のステージへ



国として都市の木造化・木質化を推進するとの姿勢を閣議決定、法律に
よりさらに明確化し、さらに大きな流れにしていく絶好のタイミング!

開港50周年で植樹した樹よ育て!

前名古屋港木材産業協同組合事務局長 柿内 賢治

平成30年6月11日に名古屋西部木材港開港50周年を記念して名古屋港鍋田地区富浜緑地に「みなとの森」の記念植樹を行い、ベイマツを笠木和雄元理事長、鈴木和雄前理事長、嶺木昌行理事長(当時)に植えていただき、その他オオシマザクラ、ハルニレ、エノキ、シラカシなど合計25本を植樹しました。しかし、昨年の7月は記録的な猛暑で雨もほとんど降らず多くの木にとって過酷な環境でした。私もポリタンクに水を詰めて運び木々の根元に水をかけてまわりましたが、枯れた木も多かったです。

それでもこの地に10本植えたベイマツは9本根つき、1月に植え替えたオオシマザクラは4月中旬ごろに可憐な花を咲かせました。これらの樹木が、これから10年、20年とすくすくと育ち立派な大樹となる日が来ることを、楽しみにしております。



オオシマザクラの花

※お詫び：紙面の都合により6月号の掲載となりました。お詫び申し上げます。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

工場倉庫を狙った侵入盗被害の連続発生 !!

飛島村内において、無施錠の倉庫内に侵入され、工具や資材が盗まれる被害が連続発生しました。

【防犯上の注意点】

- ・施錠は防犯の基本です。必ず施錠し、高価な資材は二重の施錠設備のある場所に保管するようにしましょう。
- ・機械警備の導入や防犯カメラの設置等の防犯対策をお願いします。

◆ 広告コーナー

Great Feature! KOMATSU

こんどは3トン車のモーターを2.5トン車に載せた。パワーUPするに決まっている。

いまではるかに上回るパワーを、誕生、ディーゼル車のようにお強い、バッテリーフォークリフトだ。発電50%アップ、最高速度30%アップ、そして、駆動50%アップ。この新技術、ニューモデルの登場です。さらに、物置き、バックホウのイメージを大きく超えるパワー。重い荷物の積み下ろし作業でも、足元を滑り、転倒の危険を減らし、作業効率を向上させ、安全な作業を実現。3トン車のモーターを載せ、パワーアップを実現。現場作業をいかに効率化された。

FE25H-1
ELECTRIC FORKLIFT TRUCK

快適な環境づくりに取り組む
INOUE

- バグフィルター集塵機
- サイクロン集塵機
- 定量排出装置
- トラック積載装置
- 破碎機 ウッドグラインダー
- 粉碎機 ファンシュレッダー
- 火花探知器・安全装置
- 異物除去器
- 木質ペレット製造装置
- プリケッタ
- 送排風機
- ダクト部品

井上電設株式会社 | 名古屋市中区金山4丁目3-17
TEL (052) 322-5271 FAX (052) 332-5273
<http://www.inoue-d.co.jp> E-mail: tech@inoue-d.co.jp

発行 名古屋木材組合
 発行者 西垣 洋一
 〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
 TEL <052> 331-9386
 FAX <052> 322-3376
 【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
 発行者 服部 伸一
 〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
 TEL <0567> 57-2017
 FAX <0567> 57-2018
 【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会